

「慰安婦問題」にどう向き合うか

朴裕河氏の論著とその評価を素材に

参考資料

会計報告・会計監査報告

実行委員会解散あいさつ

参考資料・当日の集会に関する主な報道記事および関連サイト

ハンギョレ新聞電子版（日本語） 2016年3月28日登録（5月9日修正）

日本のリベラル陣営でも「帝国の慰安婦」めぐり激論

<http://japan.hani.co.kr/arti/international/23733.html>

レコードチャイナ 2016年3月29日配信

新たな認識 VS 学問的に誤り、慰安婦著書をめぐり日本の学者が激論＝韓国ネットの反応は？

<http://www.recordchina.co.jp/a132052.html>

ハンギョレ新聞電子版（日本語） 2016年4月22日登録（4月23日修正）

[寄稿]朴裕河氏の「帝国の慰安婦」めぐり擁護と批判で初の討論会

<http://japan.hani.co.kr/arti/international/23951.html>

東京新聞電子版

朴裕河氏著「帝国の慰安婦」 都内で評価めぐり激論

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/metropolitan/list/201604/CK2016041902000191.html>

『週刊金曜日』第1085号、2016年4月22日

本誌取材班「激論！『帝国の慰安婦』をめぐるシンポジウム」

『放送レポート』2016年6月号

岡本有佳「問われているのは日本社会だ～『帝国の慰安婦』をめぐる議論から」

『私たちの21世紀』第86号、2016年6月号

竹内絢「朴裕河『帝国の慰安婦』めぐり討論集会」

※朴裕河氏の個人サイトでも今後、この集会についての論評が予定されているとのことです。個人サイトのURLは以下の通りです。

<http://parkyuha.org/>

0328 集会実行委員会会計報告

収入の部		
日付	項目	金額
20160328	西・本橋関係の登録での参加者からの資料代	43,000
20160328	金・中野関係の登録での参加者から資料代	43,000
20160328	その他マスコミ関係での参加者らの資料代	23,000
収 入 合 計		109,000

支出の部		
日付	項目	金額
20160327	ビデオ記録のSDカード	3,196
20160328	コピーカード	2,000
20160328	ペットボトルの水	1,800
20160328	コピー作業補助学生謝金	4,000
20160328	コピー作業補助学生謝金	2,000
20160328	ビデオ撮影の謝礼	5,000
20160408	会場使用料	16,200
20160408	板垣竜太・交通費	25,660
20160408	板垣竜太・交通費振込手数料	216
20160530	音声データ起こし作業謝金	40,000
20160530	音声データ起こし作業謝金振込手数料	648
20160614	音声データ起こし作業謝金追加支払い	6,000
20160614	音声データ起こし作業謝金追加支払い振込手数料	432
	資料集コピー用紙・付箋(外村所有のもの使用分の補填)	1,848
支 出 合 計		109,000

以上から、収入－支出＝0円となります。

0328 実行委員会 会計監査報告

0328 集会実行委員会殿

2016年6月16日

2016年3月28日に東京大学駒場キャンパスで開催された、研究集会「『慰安婦問題』にどう向き合うかー朴裕河氏の論著とその評価を素材に」にかかわる費用の収支支出についての関係書類を審査した結果、正確かつ適性であることを認めます。

岡本有佳
木宮正史

※押印した会計監査報告の原本は外村大が5年間、保管するものとします。

0328 集会実行委員会解散と集会記録集公開にあたって

2016年6月17日 文責・外村大

0328 集会実行委員会は、当初より、研究集会『慰安婦問題』にどう向き合うか—朴裕河氏の論著とその評価を素材に」開催の実務のみを任務とし、開催後の記録集公開と会計報告・会計監査を行った時点で解散することを確認していました。ここに会計報告・会計監査を含む記録集を公開することによって、0328 集会実行委員会は解散いたします。

実行委員会は、ある重要な一点においては見解を同じくし、しかしそれに関係する別な点について見解を異にし、さらに言えば厳しく対立している個人で構成されていました。重要な一点とは、「慰安婦」とされた被害者の女性たちへの謝罪や反省も示そうとせず、歴史修正主義的言論が跋扈するような日本社会の現状を憂慮し、その現状を変えたいという思いであります。そして、対立は朴裕河氏の論著をめぐる評価や彼女に対する名誉棄損の訴訟をどう考えるかにありました。そうした、おそらく同じ目標に向かっているはずであるのに対立している関係にある者が、議論のために研究集会を行うということはそう簡単ではなく、それゆえに参加者の期待も大きかったことを、いま、改めて認識しております。

しかし、この記録集に収められている、集会が終わった後に参加者から寄せられた文章からは、この集会がそうした期待に十分応えるものとはならなかったことを認めざるを得ません。これは、集会準備と当日の運営におけるわたしたちの事務遂行における不備のほかに、そもそも前述した対立とその内容の根深さと広さが予想以上のものであったことが関係しているのかもしれない。

ただし、この記録集、とりわけ、当日の発言記録と集会参加者から寄せられた原稿を通読した方は、決してこの集会の内容が空疎なものではなかったと認識していただけるものと思います。「慰安婦問題」の解決を目指す者が悩み、今後もさらに議論を深めていくべき問題が、そこから見えてくると考えるためです。この記録集が、当日の集会に参加されることのなかった方を含めて「慰安婦問題」の解決を目指す人びとに参照されることを願います。その際には、ぜひ、資料の一部のみを読むのではなく、発せられる言葉の文脈を踏まえ、かなり多様な意見の全体を丁寧に読んでいただくよう希望いたします。

なお、集会実行委員会は解散しますが、集会についての問い合わせ、実行委員会の指示によって行った、集会の趣旨を踏まえたうえでの当日のビデオ撮影および音声のデータについての利用のご希望に関しては、下記のアドレスまでご連絡をお願いいたします。

0328shuukai@gmail.com

本集会への参加者、資料提供者、報道関係者、関心をお寄せいただいた方に感謝申し上げます。

0328 集会実行委員会

金富子・外村大・中野敏男・西成彦・本橋哲也（50音順）